No.	質問事項	質　問　要　旨	答弁者
		（５）学校給食と食農教育 ①学校給食における加工食品の利用割合をきく ②輸入食品の利用割合について ③町内生産者の利用率と課題について ④小麦など食品価格の高騰は避けられないが、対応は。輸入品の小麦を使ったパン・麺類の使用をやめ、米飯中心の給食に ⑤子どもたちへの教育として食べ物を作る農業の体験事業の必要性について 地球温暖化時代を生き抜くための子どもたちを育てるために、たとえば、大豆の生産から加工品の生産までの工程の経験と食の一環教育の必要性についての考えは。	学務課長 教育長
4	こどもの遊びのサポート	都市整備の結果、こどもの遊びは、時間的・空間的・人的にも保障できない危機的状況にある。 （１）乳幼児の外遊びのサポートは。 （２）スポーツではないこどもの身体を使った遊びには自然とのかかわりが必要である。嵐山町においてもすでに子どもの生活空間に自然がない。取り戻す考えは。身近な川においても遊べないが、川を遊べる空間に取り戻す方向は （３）学校を遊び空間のひとつの場として捉える手続きは （４）べーごま・ビーだま・釘刺しなど、技術が必要な遊びの伝承は	町長 教育長
5	自然保全について	(1) 町が把握している町内にある自然保全団体、任意団体・ＮＰＯ団体、学校など活動している団体数は。 (2) 町内の自然保全活動を行っている団体の交流の必要性を感じている。自然保全を行う次世代を育成するためにネットワーク化、交流会開催の働きかけを	環境課長 副町長